



3月 園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



協同的な学びを小学校教育へ

園長 立石 晃子

冬に寒い日が三日くらい続くとその後四日間ほどは暖かい、気候がだんだん暖くなるということの意味する「三寒四温」という言葉がありますが、今年は「だんだん」ではなく、「急激」に日によって寒暖差の激しい毎日です。どうぞお体に気を付けてお過ごしください。

2月19日(月) 年長組は「幼稚園の子どもたちや保護者を楽しませよう」という目的のもと、「ばら組ランド」を行いました。どんな楽しいことをしようかと学級全体で考えたのち、自分のやりたいことを選び、集まった友達と協力し、取り組んでいきました。必要なものを作り終わった後には子供たち同士で練習してもっとよくなるようにと工夫もして当日を迎えた「ばら組ランド」でした。この時期の年長児の「協同性」の集大成となる活動です。「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」の一つである「協同性」は、「友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる」と記されています。5歳児の後半には、目的の実現に向けて、考えたことを相手に分かるように伝えながら、工夫したり、協力したりし、充実感をもって子供同士でやり遂げるようになっていきます。



「協同性」は一朝一夕では身に付けることができません。年少児から、安心感を基盤に、友達と関わることの楽しさの育ち、遊びの中で充実感ややり遂げようとする姿の育ち、共通の目的をもつ姿の育ち、対話、工夫し、協力する姿の育ちを積み重ねていくことで協同性が高まっていきます。こうした協同性の育ちは、小学校における教科への学習につながっていきます。正解の分からない、多様性・国際化の世界を生きていく子供たちにとって、他者と対話し、協力する力が必要です。そしてこの力こそ、小学校教育の段階で自然と現れるのではなく、幼児期の学びがあるからこそ現れるものです。子供たちはこの南千住第二幼稚園でたくさんの学びを積み重ねています。年長児はこの力を基盤に、自信をもって、小学校へと向かってほしいと願います。

今年度は「4年ぶりに」との枕詞がたくさん聞かれるくらい行事の復活があり、しかもただ以前と同じようにはなく、今の状況に合わせた改善を図りながらの行事となりました。保護者の皆様にもたくさんのご協力をいただきました。快くお手伝いいただきありがとうございました。次年度は本園創立70周年の節目の年度、80年に向けての出発の年となります。皆様にとっても期待と希望のあふれる年度となりますよう、祈念いたします。

今年度は「4年ぶりに」との枕詞がたくさん聞かれるくらい行事の復活があり、しかもただ以前と同じようにはなく、今の状況に合わせた改善を図りながらの行事となりました。保護者の皆様にもたくさんのご協力をいただきました。快くお手伝いいただきありがとうございました。次年度は本園創立70周年の節目の年度、80年に向けての出発の年となります。皆様にとっても期待と希望のあふれる年度となりますよう、祈念いたします。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

みんなで遊ぶと楽しいね たんぼぼ組になるのが楽しみ！

月日が経つのは早いもので、あっという間に年度末を迎えました。劇遊びの会を終えて、学級活動の楽しさを感じており、「また劇ごっこしたいな。」という声から、余韻を楽しむ様子も見られています。そして、入園当初は教師と一緒に自分のマークを見付けて身支度を行っていた子供たちでしたが「ひとりでもできるよ」と自信満々の笑顔で答えるようになり、自信もついてきました。「先生と遊びたい」という気持ちから、「友達と遊びたい」という気持ちも見られるようになり、誘い合って遊ぶ姿があります。自分のことが自分でできるようになった嬉しさや友達と一緒に遊ぶ楽しさ、大きい組への憧れの気持ちなどが、進級への期待につながっています。

3月は、いよいよ年長組を送り出す準備に入ります。お別れ会では、「ありがとう」の気持ちを込めて作ったプレゼントを渡したり、歌を歌ったりします。もも組での生活もあと少し、楽しいたくさんの思い出を振り返りながら進級につなげていきます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

どうして？へー！がいっぱい、興味津々なたんぼぼが、ばら組に向かって！

豆まきや、津波時の避難訓練、雪、遠足など、色々な行事があった2月。子供たちに分かるように色々な話をしてみると、ちょっと難しいかなと思うこともじっくりと聞き入り、「どうしてなの？」と疑問を言葉で聞いてきたり、「へー！知らなかった！」などと知ったことを自分の知識にしたりしている様子が多くなってきました。興味の輪がどんどん広がっています。

さて、あっという間の年度末。「あと少しでばら組だ！」と張り切っている子供たちとともに、年長組さんから係りや誕生会の引継ぎを行っています。一番大きな年長組には様々な役割があることや、それを次は自分たちがする番だということをしっかりと感じつつ、教えてもらうことをよく聞いたり、分からないことを質問したりしながら頑張っています。ここからは、お別れ会や修了式など、年長さんとの思い出を振り返ったり、憧れを抱いたり、自分たちが年長に向かう自信へつなげたりしながら、楽しくばら組に向かっていきます。

< 5 歳ばら組 >

ばらぐみランド大成功 もうすぐ1年生！残りの幼稚園生活を楽しもう！

幼稚園最後の素敵な思い出を作ろうと、ばら組16人で話し合い、もも組、たんぼぼ組、保護者の皆様に招待する「ばらぐみランド」を企画しました。どんな店にしようか、どんな品物を作ろうか、店ではどんな仕事が必要かと自分たちで考え、様々な素材を使いながら真剣に作っていました。人数が少なく困ったときには、「作りを手伝ってください」と他の店の友達にも協力を仰ぎ、助け合って準備を進めました。自分たちの作りあげたもので年下の子たちや保護者の方々が笑顔で遊ぶ姿を見て、「疲れたけれど喜んでもらえてうれしかった！」と大満足だったようです。

さて、園生活も残りわずかとなってきました。3月は幼稚園生活を振り返ったり、自分たちの成長を感じたりしながら、新しい生活の始まりにも期待がもてるように援助していきます。そして、「幼稚園楽しかった！」という思いをもって修了式が迎えられるよう、友達とたくさん遊び思い出を作っていきます。保護者の皆様も一緒に、充実した日々を送りましょう。